

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	かじがや障害者デイ・サービスセンター	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員25名） 契約者数 22名（令和3年3月31日現在）、延利用日数4,737日																																									
収支実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">R2年 収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td style="text-align: right;">117,021千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td style="text-align: right;">109,524千円</td> <td rowspan="8" style="text-align: right; vertical-align: middle;">11千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td style="text-align: right;">80,588千円</td> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">85,531千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自加算</td> <td style="text-align: right;">28,807千円</td> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">14,882千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">9,110千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td style="text-align: right;">0千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">7,627千円</td> <td>施設整備等</td> <td style="text-align: right;">7,487千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">117,021千円</td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">117,011千円</td> </tr> <tr> <td colspan="5">※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</td> </tr> </tbody> </table>			R2年 収入		支出		収支差額	福祉事業活動	117,021千円	福祉事業活動	109,524千円	11千円	給付費	80,588千円	人件費	85,531千円	川崎市独自加算	28,807千円	事務費	14,882千円	指定管理委託料	0千円	事業費	9,110千円	拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	0千円	その他	7,627千円	施設整備等	7,487千円	合計	117,021千円	合計	117,011千円	※端数処理のため合計が一致しないことがあります。				
R2年 収入		支出		収支差額																																						
福祉事業活動	117,021千円	福祉事業活動	109,524千円		11千円																																					
給付費	80,588千円	人件費	85,531千円																																							
川崎市独自加算	28,807千円	事務費	14,882千円																																							
指定管理委託料	0千円	事業費	9,110千円																																							
拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	0千円																																							
その他	7,627千円	施設整備等	7,487千円																																							
合計	117,021千円	合計	117,011千円																																							
※端数処理のため合計が一致しないことがあります。																																										
サービス向上の取組	<p>・令和元年度の工事をうけて内装改修された施設を活かした新たな環境整備と日課の見直しを実施し、新しい環境に合わせた業務改善の手法を踏襲、発展させて、利用者にとって安全で快適、職員にとって働きやすい環境を整備するとともに、新型コロナウイルス感染症についての正確な情報や感染拡大状況に合わせて、多くの改善案の検討、試行、変更を行い、感染者を出さずに運営をすることができた。</p> <p>・利用者の大半が重度心身障害者で、意思確認が容易ではない「かじがや利用者の意思決定支援のあり方」について、協議検討し、利用者一人ひとりの意思を日常の観察や意図的な働きかけによる反応により推測するなどにより、各々の意思や希望を利用者の宣言としてまとめた。そのことで利用者の気持ちに寄り添う支援が展開できるようになり、更に虐待防止・権利擁護の意識の醸成を図ることができた。</p>																																									

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月からの新規利用者や長期入院後に医療ケアが必要な状態での退院となった利用者については、関係機関と連携して準備をし、通所後は家族と情報共有しながら必要なケアを提供することができました。 ・利用者の障害の重度化、家族の高齢化が進む中、住み慣れた地域での安定した在宅生活を維持できるよう、家族の声を丁寧に吸い上げながら支援を積極的に行い、関係機関と連携・調整を行った。 ・祝祭日を平日同様の体制で運営しており、生活リズムの維持と介護の軽減につながり、利用者・家族から高い評価を得ている。 					

収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由)					
<p>・支出については、新型コロナウイルス感染対策に係る衛生用品の確保と高騰により、支出はかさみ、また、人材派遣会社との契約による支出がありましたが、日用品や消耗品等については、管理方法を整理し、無駄なく計画的に購入することで、節約と節減に努め予定支出内で運営できた。</p> <p>・緊急事態宣言中の利用自粛や利用調整により、大きく利用率が低下し、また契約解除による利用者が3名でたことにより、利用率は上がらない状況で、介護給付費収入の維持は困難でしたが、利用自粛中の電話による状況確認や相談支援を実施して収入確保をし、更に補助金も申請し、影響を最小限に留められるよう努めた。</p>					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取り組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	5	5
		サービス向上に向けた取り組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由)					
<p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、できるだけ3密を避けられる介助や活動方法を模索検討し、活動室を整理して広く使えるように環境を整えたり、個別活動の時間を短縮して実施するなど、徐々に出来る事を増やしていけるよう努めた。また、感染リスクを避けながらも、利用者が楽しめる代替行事を企画実施しました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染対策による日中活動の制限があり、全体として満足度が昨年度と比べて低下しているものの、利用者の意思決定支援のあり方について、協議検討し、利用者の気持ちに寄り添う支援を展開し、虐待防止・権利擁護の意識の醸成を図ることができた。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守るができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由)					
<p>・オンラインでの研修を中心に、全職員が必要な研修を受講できるよう調整し、現場で活かせる技術の習得、資格の取得ができています。また、感染症対策のため、昨年度に比べると実施回数は減少しましたが、職員の要望に合った研修を効率よく実施することができました。</p> <p>・小さな気づきをヒヤリハットで報告する習慣が定着し、多くのヒヤリハットを職員間で共有し、事故防止につなげることができました。</p> <p>・適切な時間外勤務の運用を継続するとともに、働き方改革に伴う有休休暇取得についても、計画的に確実に有休休暇を取得できるよう、労働環境や意識の改善に努めた。</p> <p>・近年多発している自然災害に備え、火災に限らず様々な災害を想定した避難訓練を計画的に実施した。また、施設のBCPは適宜加筆修正して、より実態に合った分かりやすいものにバージョンアップさせた。</p>					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4
(評価の理由) ・施設、設備の保守管理については総合管理委託によって実施されている。移転に伴い無駄を省いて適正・計画的に修繕を実施している。 ・施設内外の清掃は委託業者にて毎日実施しており、使用した物品や手すりについては都度消毒を行うとともに、換気や温度、湿度をこまめに調節しながら、快適な環境の維持に努めた。					

4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			1
	(評価の理由) ・市内の中小企業に受注や業務委託し、また、百合丘日中活動センターに封筒作製、柿生学園に職員の名刺作製を委託した。 ・法人として第5次ノーマライゼーションプラン策定委員会への参加、「全世代・全対象型地域リハビリテーションの推進」に向けての意見交換、障害者相談支援体制の見直しに合わせて指定特定相談支援事業所立ち上げの検討、支援センターの再編の準備など、行政の政策課題に参画、協力した。				

5. 総合評価

評価点合計	78	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・施設活動の様子は、季節ごとに「かじがや通信」を作成して、家族会で回覧するほかに法人のホームページに掲載して発信した。また、近隣の関係施設に配布したり、施設掲示板、近隣商店等へ掲示し、地域へアピールした。
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年と比べると積極的に地域貢献事業は実施できなかったが、花壇作りを通して地域住民の目を楽しませたり、花壇脇の掲示板にかじがや通信や利用者の作品などを掲示することで、施設に対する興味関心を持ってもらい、地域交流のきっかけとした。
 ・新規利用者や長期入院後に医療ケアが必要になった方など、様々なケースに対して状態把握と支援環境の調整を行っている。また、利用者の状況の変化に応じて家族との情報共有に努め、適宜ケアの方法を変更しながら、安全に配慮して対応している。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

令和3年度から民営化されるが、利用者の障害の重度化、家族の高齢化が進む中、住み慣れた地域での安定した在宅生活を維持できるよう、関係機関と連携・調整を行いながら、本人や家族の声を丁寧に吸い上げ、丁寧な支援を行うこと。